

## 第 436 号 JSA 機関紙 2021 (令和 3 年) 1・2 月合併号より

第 4 号議案 2021 年度ルール改正について原案通り承認されました。

### ◇ ルール 1 用語の定義「正しい捕球」の修正 (P17)

1-44 項リーガルコートボール 正しい捕球の「打球・送球・投球」から「投球」を削除。

### ◇ 競技場全体概略図 内野想定戦の名所 (表記) 変更 (P27)

「スキンドインフィールド (内野想定線)」から「グラスライン (内野想定線)」に名称 (標記の変更)。

### ◇ ルール 2 競技場 ダブルベースの【特例】(P30)

2-4 項 4 ダブルベースの【特例】にイラストを追加 (P31 の余白部分にイラスト追加)。

### ◇ ルール 6 投球 文言修正 (P62)

6-4 項 3 の条文表記を 8-4 項 7 (P90) の表記と統一。文章表現や句読点の位置を修正。

### ◇ ルール 8 走塁 (注) を新設 (P79)

8-1 項 2 に (注) を新設し、「(注) 第 3 ストライクとなる投球がバウンドし、それを捕手が捕球した場合も第 3 ストライクルールの適用を受け、いわゆる「三振振り逃げ」の状態となる」の一文を追加。

### ◇ ルール 8 走塁 審判員に触れた場合の処理・適用を追加し、整理 (P81)

8-1 項 6 〈効果〉 6 (2) の条文に、「審判員に触れた場合」を、1) として追加 (※『1) 審判員に当たった場合には、打者走者に一塁への安全進塁権が与えられ、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。(フォースの場合を除く)』を追加) し、塁を離れている走者に当たったときを 2) として記載 (※内容変更なし)。条文追加で長くなったために、1) と 2) に分けて記載した。

### ◇ ルール 8 走塁 表現を統一し、整合性を図る (P97)

8-6 項 9 (注 3) ②の『打者』を『打者走者』に修正。

### ◇ ルール 10 審判員 審判員の任務「没収試合」の文言修正 (P109)

10-2 項 6 の「没収試合」を『決定する』から、没収試合を『宣言する』に修正。

### ◇ ルール 12 記録 故意四球に関する投球数のカウントについて (P117)

12-3 項 (15) ②の「故意四球は『通告時、実際に投球した数にだけをカウントする』) に修正。

(※前年度修正漏れ。現行の実施内容に沿った形に修正)。